

## デリバリー配達員の改善が進む中国

### JSC 貿易部ニュース

平素は格別のお引き立てをいただき誠にありがとうございます。

今年の夏は各所とも例年に比べて一段と暑いような気がします、皆様どのようにお過ごしでしょうか。

私たちはと言いますと、先月、約4年ぶりに廈門に行ってまいりました。コロナの期間も品質や納期に影響が出ないよう Zoom やチャットなどを使って各工場、自社の現地事務所と打合せをしながら業務に努めてまいりましたが、いよいよ現地訪問が可能になりました。これからは、さらに密度の濃い仕事で石材店様に貢献していきたいと思っております。

しかしながら、現地訪問のハードルはまだまだ高く、以前は15日以内の滞在であればビザなしで中国に入国出来ていましたが、今はビザを取得しないと入国が許可されない状況に戻っています。ご存知の通り、このビザ申請が非常に面倒でして、約2か月前から申請のための事前予約をして、ようやく本申請が可能というような状態です。そういう事情もあってか、中国に向かう飛行機内も日本人はごくわずか。(私たちだけ??)

廈門空港に到着してからも、日ごろの行いが悪かったのか、入国審査で長い質問攻めにあい(プライベートな質問も含む)、招聘状などの書類の確認、再記入などなど…軽く20分(体感時間)ほど捕まってしまいました。実際にはもっと短かったかもしれませんが(笑)

今回のビザはシングルビザなので、次回渡航時はまた同様の申請作業をしないといけないこととなります。また2カ月掛かるので大変です。一体いつ査証なしに戻るのでしょうか。

さて、廈門に到着後にまず街中で気になったのが、通行人よりも多いのでは?と思うほどの黄色服のバイク集団。この黄色服のバイク集団の正体は、フードデリバリーの配達員達だそうです。

日本よりもずっと早くからフードデリバリーサービスが普及していた中国ですが、現状はフードデリバリーの先進国と言っても過言ではないほど生活に溶け込んでいる印象です。

キャッシュレス決済の普及と合わせて急拡大した中国のフードデリバリー業界ですが、中国インターネット情報センターによると、フードデリバリーの利用者は2021年6月末時点で4億6859万人。これは、10億人強いるインターネット利用者の46.4%、全人口の33%に当たるそうです。サービスを提供する会社は「美团（メイドゥアン）」と「饿了么（ウーラマ）」の二強状態で、約800万人いる配達員はいずれか、あるいは両方に登録して仕事をしているそうです。また、多くは地方からの労働者で、彼らが担い手となることによってサービス網が成り立っているようです。



しかし、フードデリバリーの普及が進む一方で、さまざまな問題も発生しているようです。例えば、配達遅れに腹を立てた利用者がデリバリー配達員に暴力を振るったり、デリバリー専門店のキッチンが不衛生だったり、高評価をつけるようにデリバリー配達員が利用者を脅したりといった具合です。

また、美团（メイドゥアン）や饿了么（ウーラマ）が自社サービスだけを使うよう飲食店に圧力をかけているという報道やデリバリー配達員をやってみたら日銭を稼ぐのが大変だったという記事、交通ルールを守らないデリバリー配達員を見たという SNS 投稿なども無数にあります。

しかし、こうした問題を解決しようという動きもあるようです。食品や配達員の安全確保を目的とした「外卖在线」（デリバリーオンライン）というシステムが立ち上げられ、飲食店は、美团（メイドゥアン）や饿了么（ウーラマ）のサイトから厨房の様子をライブ配信できるようになっているほか、店舗の登記情報や店員情報まで発信できるようになっています。客席から厨房の様子がよく見えるレストランというのがありますが、それをオンライン化した形ですね。

さらに、人工知能（AI）を用いた画像認識システムで、調理スタッフの異常な行動を AI で判断し、その様子を写真撮影して管理者に送信するといったこともできるそうです。

こういったシステムは少しずつ導入が進んでいるとのことで、厨房のライブ配信に対応する飲食店については、特典として美团（メイドウアン）や饿了么（ウーラマ）のトップページの見えやすい位置にリンクが表示され、利用者からのアクセスが増えるという仕組みになっているようです。

また速度違反や信号無視、逆走などを繰り返すデリバリー配達員への対策については、デリバリー配達員のヘルメットや車両に GPS チップを取り付けることで、さらに監視を強める予定との事です。

では、そんな中国のフードデリバリー配達員の待遇はどうなっているのでしょうか？

コロナ以降、日本でもフードデリバリーの需要が増え、どんな仕事なのか、どのくらいの収入になるのかといったことが情報番組などでも取り上げられておりましたが、中国はと言いますと、フードデリバリーで結構しっかり稼げるようです。石材工場の方から聞いた話によると、1 カ月あたり「10,000 元～15,000 元（日本円で 20 万～30 万円）くらいは稼げるみたいですよ」とのことなので、中国の他の職業に比べると比較的高く感じられます。

中国の石材工場の職人さんの給料も上がり続けておりますが、一方で若い成り手がいないといった状況は、こういったことも背景になっているのかもしれないですね。

ちなみに 2023 年の中国の大卒初任給ですが、平均で 5,823 元（日本円で約 11 万 6 千円）、修士課程修了生は 10,113 元（日本円で約 20 万 2 千円）となっております。

平均なので北京や上海などの 1 級都市ではもう少し高いと思いますが、このデータと比べて見ても中国でのフードデリバリー配達員の給料は、若者にとって魅力的なものだと思います。

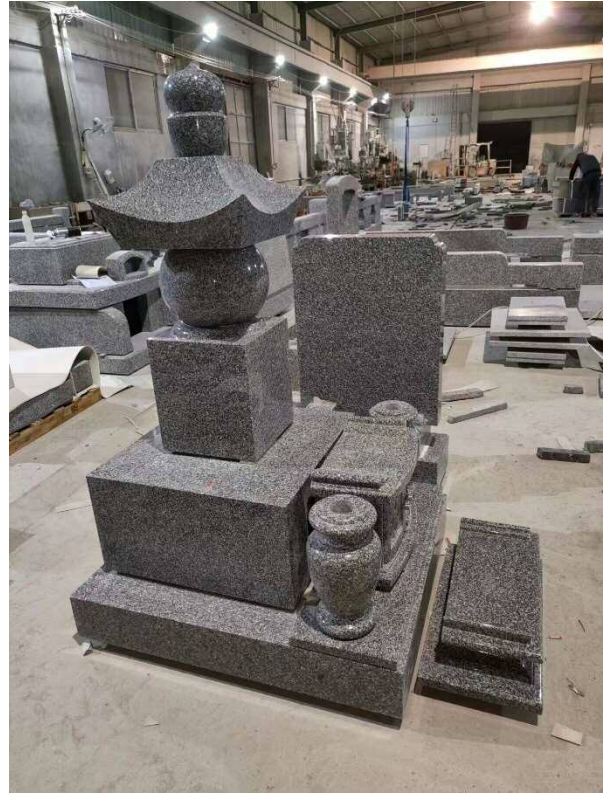
## 今月の石種情報

さて、今月ご紹介する石種情報ですが、「G 6 8 8」です。

原石の在庫量が少なくなっている「G 6 8 8」ですが、弊社のパートナー工場に原石在庫がございますので、改めてご紹介させていただきます。

全国各地の石材店様で和型・洋型の墓石や外柵など非常にたくさんご利用いただいております「G 6 8 8」ですが、採掘停止でご不便に感じておられた石材店様もいらっしゃるかと思います。

限定品ではありますが、400 m<sup>3</sup>以上在庫がございますので、お問い合わせ等ございましたら、よろしくお願いたします。



今月のメルマガはここまでとなります。

まだまだ猛暑が続きますが、皆様のご健康と益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

2023/08/01